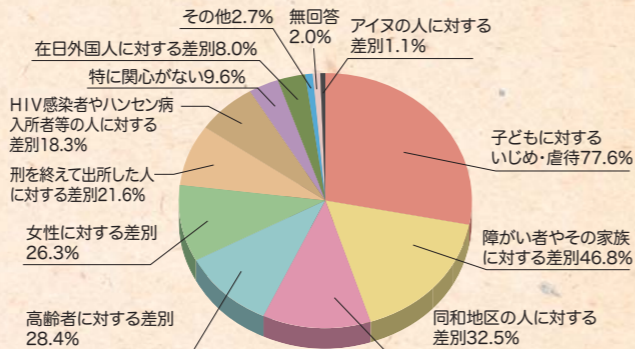


人権・同和問題に関する啓発活動のために、市では2012年8月に市民の皆さんに人権・同和問題意識調査を実施しました。調査結果について概要をお知らせします。

同和問題は国民的課題です。一人ひとりにかかわる問題として理解を深め、あなたの周りにある「差別」にはっきりと「駄目!」「NO!」と言える勇氣を持ちましょう。

Q. 人権問題の何に関心がありますか?

日本の社会には、基本的人権に関わるいろいろな問題がありますが、あなたが特に関心のあるものを3つ選んでください。

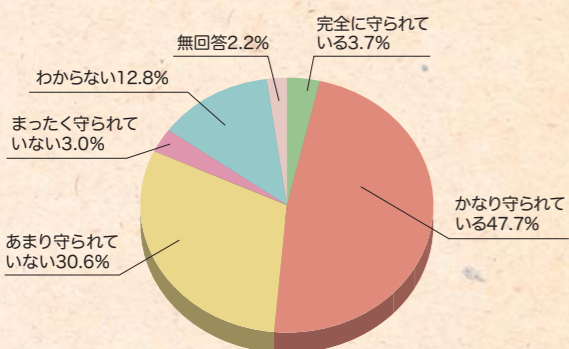


複数の人権問題に回答があり、市民の関心は多様化しています。私たちは、日常生活の中でさまざまな人権問題と関わりながら生活しています。人権問題は一人ひとりの問題です。日頃からさまざまな人権問題に関心を持ちましょう。



Q. 守られていますか? 基本的人権

基本的人権は侵すことの出来ない永久の権利として、憲法で保障されていますが、あなたは今の社会でこのことが守られていると思いますか。1つ選んでください。

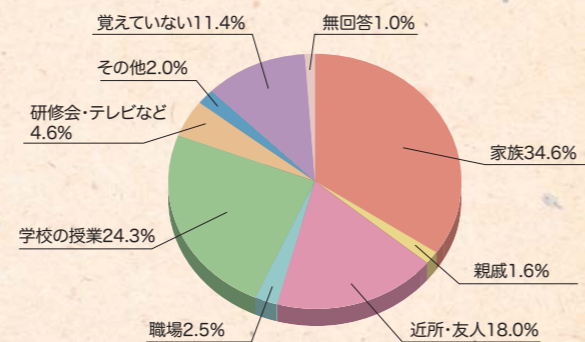


基本的人権が(完全・かなり)守られているとする回答は51%で、過半数を占めています。かけがえのない人生を幸せに生きるために、自分や他人の人権が大切にされる社会になるよう、お互いが努力しましょう。



Q. どのようにして知りましたか?

あなたが、同和地区や人権・同和問題をはじめて知ったきっかけは何からですか。1つ選んでください。

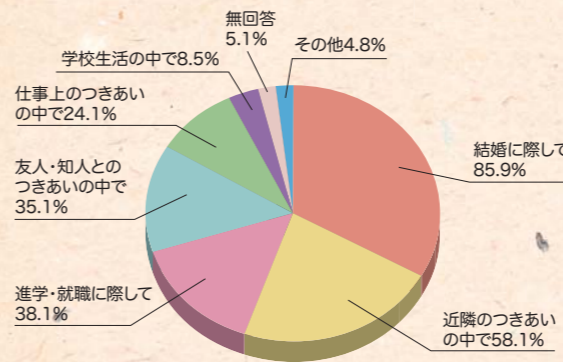


同和問題を知る機会は「身近な人(家族・親戚・近所等)」からが58%、「学校の授業や研修会等」が29%となっています。積極的に研修に参加し、正しい知識を身に付けましょう。



Q. 差別はどんなときに?

同和地区の人たちは、どんなときに差別を受けていると思いますか。3つ選んでください。

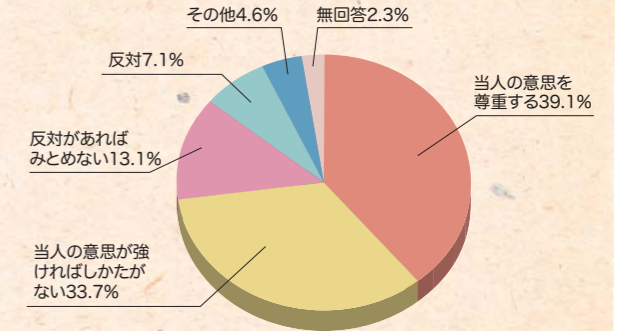


「結婚に際して」と「近隣のつきあいの中で」は現在においても根強い意識があることが分かります。住んでいるところを理由に結婚や就職ができないなど、あってはならないことなのです。



Q. 結婚に対してあなたなら?

仮にあなたの家族の中で、結婚しようとする相手が同和地区の人である場合、あなたはどのようにしますか。1つ選んでください。

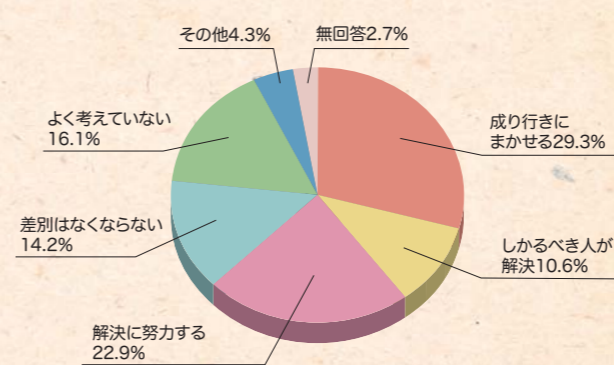


すべての年齢層において肯定的な意見が増えてきていますが、今も身元調査は無くありません。誰もが愛する人と結婚できる差別の無い社会を実現させていきましょう。



Q. 同和問題解決に向けて、あなたなら?

同和問題の解決に対するあなたの態度はいかがですか。1つ選んでください。



同和問題をはじめとする人権問題の解決のためには、他人事ではなく私たち自身の問題であるという認識と解決に向けた行動力が必要です。



三豊市人権・同和問題講演会

日時 8月23日(金)
午後2時~3時30分

場所 マリンウェーブ

講師 ダニエル・カール氏
(山形弁研究者)



演題 「オラの愛する元気な日本」
※手話通訳・要約筆記あります